

佐賀市総合計画審議会 経済・産業分科会 意見・質問一覧表

No	ページ	基本政策	施策	区分	提案者	内容	趣旨
1	42	4 経済・観光	働きがいのある企業を増やす	意見	庄野委員	<p>1 働きがいのある企業を増やす</p> <p>新しい働き方や新たなフィールドで活躍する企業の魅力などを、高校生や大学生といった就業に迫られる世代だけでなく、もっと下の世代から伝えていくことを要素として追加してもいいような気がします。（教育的要素、意識の醸成）</p>	生産性の向上や高付加価値化の実現を進めること、先進的ビジネスや分野を強化することにより地場企業自体の魅力上がり、U I J ターンの促進にも繋がると思います。ただそれだけでなく、もっと若い世代に対しても新しい働き方の魅力、地場の先進的優良企業・団体に働くことの魅力等を学校等で伝えていくことは、企業を増やすと同時に大事な両輪ではないかと思えます。企業が増えるだけでなく、働く人が増えれば、その分仕事以外でも街なかを訪れる人も増える可能性は高くなりますし、今以上に価値観が多様化し、プレイヤーの創出にも繋がることと思えます。
2	42	4 経済・観光	価値のある観光体験の提供	意見	庄野委員	<p>2 価値のある観光体験の提供</p> <p>各論になるかと思うので、今回の場で話すことではないのかもしれませんが、「地域ブランドの創出」「佐賀らしさ」ということで、ぜひ佐賀市の地域資源である「クレーク」の活用も、観光資源の重点要素の一つとして検討していただけたらと思います。</p>	「佐賀らしさ」ということで、一見地味な分野ではありますが、佐賀クレークネットや松原川川床プロジェクト等の市民活動も活発になってきた背景があります。市民活動の促進だけでなく、さらなるブランディングをしていくことで、オンリーワンの観光資源に育っていく可能性もあるのではないのでしょうか？
3	42	4 経済・観光	ここにしかないモノ・コトが集まる「まちなか」への進化	意見	村井委員	<p>3 ここにしかないモノ・コトが集まる「まちなか」への進化</p> <p>バリアフリーについての観点を、方針に反映させて欲しい。</p>	佐賀駅前には身障者でも入りやすい飲食店が少ないと感じるため。例えば、先日、脚が不自由で車いすを使っている叔父が介助者付きながらも、佐賀駅前に入れる飲食店を見つけるまで11軒回ったという話を聞きました。高齢化に伴い、脚が不自由な方も増えることが想定されるので、高齢化対策としても大事だと思います。
4	44	5 農林水産	感動を与え、稼ぐ農業の実現	意見	村井委員	<p>1 感動を与え、稼ぐ農業の実現</p> <p>方針が多いので、最重要な方針の明示か、優先度を決めた方が良い。 また、下記の方針は重複していると思うので、統合した方が良い。 ①・④→「労働力確保」に関する方針 ②・③・⑦→「生産効率化」に関する方針</p>	限られたリソースで最大限の効果を出すため。 方針は「労働力確保」「生産効率化」「生産体系構築」「販路拡大」の4つに大きく分類されると思いますが、重点的にやるものを決めた方が総合戦略を立てやすいと思えます。
5	44	5 農林水産	感動を与え、稼ぐ農業の実現	質問	村井委員	<p>1 感動を与え、稼ぐ農業の実現</p> <p>『⑥地場産品のブランド化に磨きをかけ、販路拡大を行っていきます。』</p> <p>⑥に「地場産品のブランド化に磨きをかけ、」とありますが、すでにブランド化の動きをしているというのでしょうか？ そうであれば、具体的に教えて頂けないでしょうか？</p>	私が存じておらず、かつ、インターネットで調べても、そのようなものは見つけれなかったため。「シギの恩返し米」プロジェクトというものはありましたが、ブランド化とは違うと思うため。 http://www.umasaga.jp/shigimai-project/